

⑤五十六句目「范舟湖上扁」の句に込められている故事

『史記』卷一二九「貸殖列傳第六十九」の一文

『蒙求』「范蠡泛湖」の一文

⑥五十七句「長沙沙卑濕」の故事

『史記』「屈原・賈生列伝二十四」にある、文帝に仕えていた賈誼が長沙王の太傅に左遷させられた故事を響かせている。そしてこれに続く『史記』の次の一文および、後述の『文選』の一文が、この五十七句の詩語の措辞となっている。

賈生長沙王太傅三年、有鵝飛入賈生舍、止于坐隅。楚人命鵝曰服。賈生既以謫居長沙。長沙卑濕、自以爲壽不得長、傷悼之。乃爲賦以自廣。

この故事は、『漢書列伝 十八』及び『蒙求』「賈誼忌鵝」にも載せる。又、右に引用した一文は『文選』の「鵬鳥賦一首并序」（賈誼作）にも載る。

⑦五十八句「湘水水瀟灑」の故事

『史記』「屈原・賈生列伝二十四」にある、失意のうちに汨羅の川に入水自殺した屈原の故事を響かせている。そしてこれに続く『史記』の一文が、この五十八句の詩語の措辞となっていると思われる。

⑧八十五句目「魚觀生竈釜」の表現に込められた故事